

■活動の概要

長崎ウーマンズ・ウォークラリーは、長崎の街中に息づく歴史や、この地で活躍した女性たちの足跡を巡るまち歩きイベント。

「女性による女性のためのまち歩き」をコンセプトとして始まった本イベントは、今年で開催35周年を迎え、今では広く市民に愛される秋のイベントの一つに成長している。

毎年1000名近い女性に参加し（5年に一度は「男子解禁！」で男性も参加可能に）、約10km・3時間のコースを通じて、普段は見落としがちな長崎の歴史や文化に触れ、地域の魅力を再発見する機会となっている。

イベントの企画・運営は、長崎に住む女性約20名がボランティアで主導し、地域住民、行政、企業、学識者、学生、移住者なども巻き込みながら、半年以上の準備期間を経てイベントを創り上げる。

■活動の沿革（始まりと発展）

当初は、長崎市が主導する市民活動支援「長崎伝習所」内の、女性だけの塾「紅塾」のプロジェクトとして昭和62年に始動した。

「女性の目から見た長崎再発見」をテーマに、塾内で活動内容を模索していた矢先、メンバーがとある長崎の女性の偉人の存在を知ったことが、本イベント誕生のきっかけとなる。

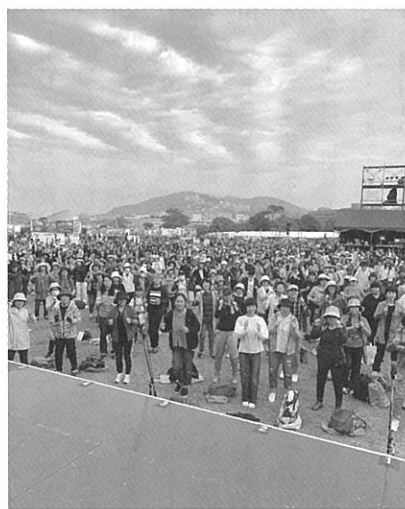


長崎ウーマンズ・ウォークラリー運営メンバー

まちむら発見②

まち歩きによる地域の魅力の再発見

長崎県長崎市 長崎ウーマンズ・ウォークラリー実行委員会



開会式
一きよしのズンドコ節でウォーミングアップ

その偉人の名は「大浦慶」。幕末から明治にかけて活躍し、日本茶の海外輸出で大成功を収めた長崎の女傑である。

「長崎には、大浦慶をはじめ、激動の時代を駆け抜けた立派で素敵な女性たちがたくさんいた」一同、そのことに驚くと同時に「私たちはじめ長崎の人たちは、そんな彼女たちの存在を、全然知らない」このことに、大きなショックを受けた。

この時の想いが原動力となり、長崎で活躍した女性たちの足跡を辿る「長崎ウーマンズ・ウォークラリー」は誕生した。

イベント企画に関して全くの素人の女性がボランティアで集まり、全てが手探りの中、行政・地域住民・企業などの協力も受けつつ、何とか第1回を準備・開催した。当日はあいにくの悪天候ながらも約660名もの女性に参加し、長崎の奥深い歴史や文化、人々の営みに想いを馳せた。初回のウォークラリーは大好評を博し、結果的に、女性の社会進出が進み始めた昭和62年当時の時流



閉会式—地域の合唱団によるコーラス

を汲んだイベントになると同時に、市民がまち歩きを楽しむに気づく原点ともなった。

その後、長崎の女性や・地域に愛されながら（そして男性からの熱い要望で5年に一度「男子解禁」もしながら）、年々規模を拡大しつつ、現在まで35年間継続している。

なお、近年の長崎ウーマンズ・ウォークラリーでは、特に以下ポイントに力を入れ活動を続けている。

●ウォークラリーを通じての、地域の歴史・文化・魅力の再発見と伝承

●地元高校生に企画・運営に参加してもらい、実践的な学びの場を提供・地域理解を推進

●ホームページやSNS（YouTube/Instagram/Facebook）を活用した積極的な情報の発信

※2020年度は新型コロナウイルスの影響で、リアル開催からオンライン開催（YouTubeでの動画配信）に切り替えて実施。

近年、長崎市では風情ある街並みや、歴史的に重要な文化財が急速に失われつつある。また「人口流出2年連続ワースト1位（2018・2019年度）」など、人の流出も目立っている。

これらの理由は様々複合的ではあるが、一つには「長崎の人が、長崎のこと



コース中のチェックポイント—海雲山皓臺寺



コース中のチェックポイント—万寿山聖福寺

を知らない。魅力に気づけていない」ことがあるのではないかと、この問題意識から、特に上記に挙げたような「長崎の魅力の再発見・伝承」に力を入れて活動している。

このような想いがありつつも、純粹に、秋晴れの気持ちの良い空の下、長崎の魅力を感じながら、楽しくまち歩きする。そんな素敵な1日を作るために、長崎の女性等を中心に日々活動している。

■活動の成果と意義

●これまでの累計参加者数は4万3000名を超え、市民が自分たちの街の歴史・文化・魅力を再発見する機会を提供

●地域の商店街や飲食店などへの経済波及効果

○イベント当日は朝から10000名近い参加者が地域を歩き回る

○商店街もイベントに合わせ試食会や特売などを実施

●地元高校生に企画運営に参加してもらうことで地域の歴史や文化の理解を促進

●地域における人と人とのつながりの創出

○当日は老若（男）女、小学生以下のキニートなプリンセスから80代の健脚レディまで、幅広い層の方々が参加

○運営チームは、主導となる女性ボランティア20名に加え、地域住民、行政、企業、学識者、学生、県外からの移住者なども加わり企画準備・運営

●各種団体・企業による協賛・協力・後援等多数（長崎県・長崎市・長崎歴史文化博物館・シャボン玉石けん㈱・(株)エフエム長崎、他多数/敬称略）

（長崎ウーマンズ・ウォークラリー）

広報及び映像制作係 品川正之介